

1941年に建設業で歩み出した会社ですが、時代とともに多様性を持ち会社の事業内容は大きく変わりました。現在は火力発電所の保守をはじめ地域情報サイト「まいぷれ」の運営やWEBページ制作、土産物の開発・販売、ECサイト「北京都逸品百貨店」運営などを行い、今年から舞鶴市ふるさと納税の受け付け業務をする合同会社HOUKYOの一員も務めています。手広くたくさん事業を展開するのは、リスク分散と速い時代の流れに対応するためです。10年ひと昔と言いま



堀口宏之さん(左) 児島信行さん(右)

舞鶴の元気な企業の一つに

株ホリグチ

したが、今は2〜3年で世の中は変化します。企業も時代の流れに即して変化し、適応していく必要があると考え、新規事業の立ち上げや衰退事業の縮小を行い多様化しています。理想は野球のように1〜9番のラインナップが組める企業です。現在は社員の7割ほどが関わっている火力発電所の保守事業が4番バッターですが、将来の4番バッターの育成も含めて9本の柱を作っていく事業展開をしています。

お客さまから「こんなことできる」という声をいただくこともあり、運営5周年を迎えた「まいぷれ」の技術を生かし、WEBページ制作の仕事にもつなりました。自社にできないことはつながりのある地元の家社を紹介したり、委託したりしています。「舞鶴でできることは舞鶴で」という考えは全ての事業に一貫しており、地元で人やお金が流れることが地域の力になると考えています。一社ではできないことも連携すれば対応できることも多いです。元気な企業が多くなれば、まちの活力も上がり、ま



右) 地域情報サイト「まいぷれ」制作風景
下) 肉のABCフーズさんのECサイトの相談にのる児島さん



(上) 日差しが差し込む新社屋 (下) 工場も広くなり作業もしやすく



舞鶴にはどんな企業があるのか。市内の若者や求職中の人の人に向けて舞鶴の「働く場」を2か所紹介します。

働きやすく頼られる会社に

松井アーキメタル(株)



▼立体自動倉庫



油谷紀彦さん

関西ではめずらしく、鉄鋼品の取り寄せから製造、運搬までを行ってしまします。創業は昭和23年、舞鶴への進出は昭和48年と歴史も古いです。以前は卸売りの業務でしたが、時代の変化で仕事の内容も変わり、製造業も取り入れました。昨年の9月から社屋と工場も新しく広くなり、社員も増えました。働く環境を大切に、自然光を取

り込み、明るく温かみのある木造社屋を新築。業務が効率的にできるよう、また女性にとっても働きやすい環境になるよう、重い商材をスムーズに運搬できる荷物昇降機を導入するなど細部にも工夫があります。また、昔は積み上げて管理していた重く大きな材料もICTを活用した立体自動倉庫を導入したことで、負担も大きく30分かつていた作業が、パソコン入力で2分で行えるようになりました。効率化した分は営業範囲を広げたり、新しいことを始めたいと思っています。

屋根の板金など、急ぎのものや難しい作業もありますが「松井さんに言ったらなんとかしてもらえ」と言ってもらえるように奮闘しています。また、その人にしかできない高度な技術も次の代へつなげ、人が変わっても技術が受け継がれる工夫も模索中です。この仕事は満足せず、日々どうすればもっと時間をかけずに質が上がるかを考えられる人が向いているかもしれません。

毎年4月に展示会をしていて、今年はコロナ禍でできませんでしたが、来年の開催を目指しています。社屋は屋上にも上れるので見晴らしもよく風も気持ちいいので、ぜひうちで作った屋根を体感してほしいですね。

松井アーキメタル(株)舞鶴営業所
喜多1番地48、☎76・2281

株ホリグチ
中田450、☎88・0331